



ひがしの子

入園・進級して1か月が経ちました！

3歳児こあら組の子ども達の中には、「ママがいい。」「お家に帰る。」と、涙が出ていた子もいましたが、最近はずっかり慣れてきたようで、泣かずにおうちの方と離れることができるようになりました。まだ、ちょっぴり不安な時もあるようですが、笑顔もたくさん見られるようになりました。

3歳児は、集団生活をするのが初めてという子どもがほとんどのため、自由でマイペースな姿や、自分の思いをうまく伝えられず手が出てしまう姿などがあります。これまでは、家庭という守られた場所での生活から、集団生活という社会に出て、「何でも自分のもののはずなのに…」、「もっと遊びたいのに、なんでやめなくちゃいけないの？」などという、子どもなりの「こんなはずじゃなかった。」場面での葛藤がいくつかあるのでしょうか。どれも3歳児の素直な子どもの姿だと思います。一人一人の発達やペースが大きく異なる年齢でもあります。楽しい関わりも、ネガティブな関わりも、子どもにとっては両方必要な経験です。家庭では経験できない周りの子どもとの出会いの中で、一つ一つを大切な学びの機会としていきたいと考えております。自分の思いを表現できる子どもは、少しずつ自分とは異なった思いをもつ相手の存在に気付いて、関わり方を知ることが大切ですし、「困ったなあ。」「いやだなあ…」と思うことを伝えにくい子どもは、少しずつ大人に表現できるように、教師との信頼関係を基盤に力を付けていくことが必要です。

教師が十分に対応できていない場面もあり、保護者の方にご心配をおかけすることもあると思います。どうぞ、お気軽に担任や主任、教頭、園長などにご相談ください。

(今年度も、3歳児補助の先生は勤務がシフト制となっています。4月中は、2人の補助の先生と一緒にクラスに入ってくださいますが、4月末からは、2時間と3時間のシフト交代制となりますことをご了承ください。)



4歳児なつめ組、5歳児たいよう組の子ども達は、担任が変わらなかったことで、環境の変化が少ないからか、どの子も落ち着いて生活しているように思います。1つ大きくなった喜びを感じながら、これまでの経験を活かして、毎日元気に遊んでいます。

この4月から出会った私にも「園長先生、一緒に遊ぼう！」「鬼ごっこしよう！」と誘ってくれます。新たに出会った人のことも受け入れ、自ら関わろうとする姿に感心しています。これは、これまでの育ちから「人への信頼感」が育ってきているからだと思います。さらに、様々な人とかかわることで、かかわりの幅が広がったり、深まったりしていくことでしょう。

そんななつめ組さん、たいよう組さんの姿から少しお知らせします。

なつめさんのAくんが、ある日、カエルが干からびたものを持ってきました。(カエルの抜け殻と言っていて、その表現も面白いなと思いましたが・・・) そのカエルをその後どうしたかと思っていたら、担任から「水につけて、“戻るかなあ・・・”と試していました。」と聞きました。なんておもしろいことを考えるんだろう！と思いました。そのカエルはその後どうなったかということ、面白そうと思った別の子が持って行ってしまい、なくなってしまったとのことでした。このエピソードも、きっとAくんは、“乾燥したものを水で戻す”という経験があったからこそ思いついたのだと思います。それは、自分の経験なの

か、または、保護者の方が乾燥した野菜などを水で戻していたのを見たことがあったのか・・・。
きっかけはわかりませんが、自分の経験からどうかな？と試す姿に繋がったのでしょう。

最後まで見届けられなかったのは残念ですが、このように、日常の中で“おもしろそう”“どうかな？”
“やってみたい”等と、心を動かして遊ぶことをこれからもたくさん経験してほしいと思います。

たいよう組さんは、こあら組さんの歓迎会を計画していました。題して「こあらさんサプライズ作戦」
です。「こあら組の子たちが幼稚園楽しいって思えたら嬉しいよね。」と話し合いを重ねる中、大好きな
遊びを一緒に楽しんだり、好きなものをプレゼントしたり、歌や踊りを披露したりしたいという思いがそ
れぞれたくさん出て、“全部やってみよう”ということになりました。

先週は、こあらさんのことを思って、プレゼントを作ったり、準備をしたり、遊びの中で自然と触れ合
うことも増え、ますます親しみを感じていたようです。プレゼント製作では、「何が好きな・・・。」
「もっとかわいくしたいな・・・。」とそれぞれ、こあら組の子のことを考えています。やさしくかわ
るたいようさんは、立派な年長さんだなと感じました。

さて、いよいよ今日は歓迎会でした。朝は雨・・・。園庭で思い切り一緒に遊ぶことも考えていた、た
いよう組さんにとっては、残念なお天気でした。話し合いの結果、歌や踊りの披露やプレゼントをあげる
のは、今日、外で思い切り遊ぶのは明日・・・というように、1日では終わらないサプライズにすること
になりました。

たいよう組さんの歓迎会に、こあら組さんは恥ずかしそうな子、一緒に踊っている子、嬉しそうな子・・・
様々な表情を見せていました。でも、もらったプレゼントを大事にしている姿から、嬉しさが伝わってき
ました。詳細は、各クラスのHPもご覧ください。

JR 長森駅北口交通広場オープニングセレモニーに参加しました！（年長児）

ホームページでもお知らせしましたが、4月20日（土）に、JR 長森駅北口に交通広場ができ、その
オープニングセレモニーが行われました。市長さんもいらっしゃるような大きな式典です。そこで、たい
よう組さんは、くす玉割りや、コミュニティバスの乗り入れ第1号のお客さん、花束贈呈、そして、歌と
踊りの披露と大役を果たしました。多くのお客さんの前で緊張したと思いますが、笑顔で取り組みまし
た。皆さんからたくさん拍手もいただけたので、良い経験になったのではないかと思います。これから
も、地域の方々のお力をお借りしながら、子どもたちが豊かな経験ができるようにしていきたいと思いま
す。この様子は、岐阜新聞、中日新聞でも掲載されましたが、今度、「広報ぎふ 5月15日号」にも掲
載される予定です。お楽しみに・・・。また、地域の「長森東汎愛の郷」のホームページの「お知らせ」
の所にも様子が掲載されています。さらに、5月3日（金）18:00～18:15に岐阜放送「あなたの街か
ら岐阜市」で、長森駅周辺のまちづくりについて放送される予定だそうです。式典の様子がどれくらい映
るかはわかりませんが、よろしければ、見てくださいね。

5月の保育のねらい

【3歳児】

- 先生と一緒にいろいろな場所や遊びに興味関心をもつ。
- 幼稚園生活のリズムが少しずつ分かり、先生と一緒に身の回りのことをしようとする。

【4歳児】

- 先生や友達と一緒に生活する中で、自分の身の回りのことを自分で行う。
- いろいろな遊びに関心を持ち、友達や先生と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。

【5歳児】

- 年長児としての自覚を持ち、自分たちの生活に楽しんで取り組む。
- 友達と誘い合って、戸外で思い切り体を動かすことを楽しむ。



親子苗植え、ご協力、ありがとうございました！

おいしい野菜が収穫できるといいですね。水やり等、気にかけてくださいね。